

クリアの使い方

シチュエーションごとにブリーチやオキシの使い分けに迷わなくなる。
バージン毛からのトーンアップ・既染毛の残留だけ取りたい時など
ブリーチワークの幅がグッと広がる内容です。

よくある疑問

- 01 クリアって何？
- 02 何パーセント入れるのが正解？ どのくらい薄くなるの？
- 03 なんでみんなブリーチに入れたりしてるの？
- 04 ライトナーとの違いは？
- 05 アルカリキャンセルとの使い分けは？

0クリアについて

0クリアとは？

透明な微アルカリのクリーム = 薄め剤

0クリアを使う目的

カラーの染色作用と脱色作用を弱めるため

⇒ ダメージレスの薄い薬を作るため

カラー剤の中身を解説

■メインの成分はこの2つ

染料

色味の濃さに関係する



アルカリ

染色作用と脱色作用に関係する
(ダメージの原因にも)

■レベルによって中身の割合が変わる

4Lv カラー剤



低明度のカラー剤は
染料が多くアルカリが少ない

14Lv カラー剤



高明度のカラー剤は
染料が少なくアルカリが多い

アルカリカラーの流れ

1 剤



染料



酸化重合



染色作用

2 剤



アルカリ



活性酸素



脱色作用

過酸化水素水

こんな時どう考える？

ご来店時



出来るだけ傷ませずに
明るめのカラーを希望

状態

ハイトーンのアンダー
既にブリーチのダメージもある

低明度の薬だと
色が濃すぎるし
高明度の薬だと
ダメージが強くなってしまふ...

〇〇。



どうしよう??

こんな時どう考える？

4Lvカラー剤



⇒染料が濃すぎる

1 4Lvカラー剤



⇒アルカリが強すぎる

染料も薄くて
アルカリも少ない
カラー剤が欲しい！

〇〇。



こんな時はこう考える

低明度カラー剤



+

クリア

⇒ 染料が濃すぎる

染料も薄くて
アルカリも少ない
カラー剤が欲しい！

〇〇。



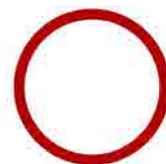
染料をクリアで薄める

10Lv：クリア＝1：2のカラー剤



+

クリア



⇒ **染料**が薄くて**アルカリ**も少ない

より適切

14Lvのカラー剤



⇒ **染料**が薄くて**アルカリ**は多い

ダメージが
出てしまう

0 クリアを使うべきシチュエーション

脱色作用 は起こさずに **染色作用** を起こしたい時



今、髪の色にあるティントを削る必要がない時はクリアを使った方がダメージレス

■ 具体的には？

色味を入れるだけ のトーンダウンの時

脱色作用を起こしてティントを削りながら色味を入れたい時は不適切
= 今の状態より透明感を出したい時は不適切

おすすめのシチュエーション

■ 発色や透明感よりもダメージレスを優先したい時

例) ブリーチ無しのアンダーをトーンダウン

■ コントラストハイライトやコントラストバレイヤーのブリーチ面積が少ない毛先のオンカラー

次のページで理由を説明します⇒

■ 場所による明度差が1レベル以内のムラの少ない全頭ブリーチのオンカラー

ブリーチムラがあったり、残留履歴があったりするとクリアが使いにくい

0クリアを使うメリット・デメリット

＼クリアを使えば正解！ではない／

メリット

- ・ダメージレス（アルカリが減る）
- ・色持ちがよくなりやすい
（放置時間が長い・脱色作用が弱い）
- ・塗っている時に
毛が硬くなりにくい
（アルカリが弱くなっている為）

デメリット

- ・ムラになりやすい
（アルカリによる脱色が起こりにくく
ムラがムラのまま出やすい）
- ・発色が弱く（薄く）なりやすい
（活性酸素の発生量が減ることで
酸化重合も起こりづらくなるため）
- ・放置時間が長くなる
（アルカリが下がることにより
脱色・染色の時間がかかる）

ブリーチ面積の
狭いコントラスト
ハイライトなどの
施術には
向いている

お客様の優先順位に合わせて使うか否か選ぶことが重要

1 剤とクリアの割合と設定明度一覧表

1 剤（色味） : 0クリア	設定明度
1:0.5	1Lv UP
1:1	2Lv UP
1:1.5	3Lv UP
1:2	4Lv UP
1:2.5	5Lv UP
1:3	6Lv UP

1 剤とクリアの割合と設定明度一覧表

例) 8Lv設定でオンカラーしたい

1 剤 (色味) : 0クリア	設定明度
1:0.5	1Lv UP
1:1	2Lv UP
1:1.5	3Lv UP
1:2	4Lv UP
1:2.5	5Lv UP
1:3	6Lv UP

6Lv : 0クリア = 1 : 1

↓ **2Lv UP!!**

設定明度 8Lvの薬

0クリアで薄めた設定明度の薬と
通常と同明度の薬って同じ明度？

⇒クリアで薄めた薬の方が
仕上がりの色は少し薄くなる

■ **なぜ？**

アルカリが薄まることにより
活性酸素の発生量も減るため
→染色作用も弱まる

よくあるご質問

Q. ライトナーや10Lvクリア、14クリアとの違いは？

A. 染料が入っていないのは同じ、アルカリ度の違い

Q. AC（アルカリキャンセル）との違いは？

A. アルカリ度を下げて、ダメージを減らすという目的は同じ

Q. 微アルカリや弱アルカリカラーとの違いは？

A. アルカリ度を下げて、ダメージを減らすという目的は同じ

Q. ACや微アルカリ、弱アルカリとの使い分けは？

A. 目的は同じなのでどれか1つでOK（色んなものを併用すると失敗した時原因がわかりづらい）

Q. ブリーチに入れる目的は？

A. ブリーチのアルカリ度を下げる為（＝クリームブリーチのような状態）

Q. おすすめのクリアは？

A. 各メーカーで成分の微差はあるが仕上がりに影響するほどの違いは生まれないのでなんでもOK
山崎はコスト的にフィヨレBLカラーのクリアを使っている

まとめ



積極的に使うのは、ハイダメージ毛（17Lv以上）がおすすめ
→健康毛に使うと、色が入らないリスクがある為



健康毛～ダメージ毛に関してはカラー剤の
発色を最優先したいのか、ダメージレスでしたいのかの
優先順位を明確にする



クリアと微アルカリカラーとオキシACは目的は同じ
カラーに慣れるまではクリアに絞るのがおすすめ



クリアを使う際は、表を元に何レベル設定にしたいかを考える
→何となく使ってしまうと、次に活かされない